

事業所名

かえで★すくーる

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人(事業所)理念		安心安全な居場所になるとともに、基礎学力やソーシャルスキルなどを身に着けたり、視機能を向上させたりすることで、学校や地域社会の中で生きていきやすくなるように支援していきます。社会性の向上等将来に必要な社会スキルの獲得の一助となり自分らしく社会に羽ばたいていけるように支援していきます。					
支援方針		学校以外の「ほっと」できる安心な居場所です。個々の持っている力を発揮できるように得意、不得意に配慮し「やってみよう」「できた」といった達成感を持てるよう活動を考えます。集団の中で友だちや、支援者とかかわりを持ちながらコミュニケーション力やルールを学ぶ環境を整えていきます。保育所等訪問支援では学校等へ訪問し、集団への適応のため学習や心理面で支援したり、担当者へアドバイスしたりしていきます。					
営業時間		13 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	毎日の体調管理を行い、小さなサインを見逃さないようにしていきます。あいさつ、身だしなみ、排泄等生活面において声掛けをしながら自覚を促し、習慣化するように働きかけます。一日のスケジュールがわかるように視覚支援を用いてわかりやすく提示していきます。					
	運動・感覚	トランポリンやスラックライン、バランスボールを利用して平衡感覚を養う活動を提供します。運動を取り入れて、体を動かす時間を作っていきます(卓球、バドミントン、キャッチボール、バレーボール、サッカー等)牛乳パックや段ボールを使っての工作で創作力を養って行きます。					
	認知・行動	ビジョントレーニングを取り入れ、トレーニングマシンを利用していろいろなプログラムに挑戦し視機能の向上を図ります。事前に時間を知らせたりタイマーを利用してスムーズに行動の切り替えができるようにしていきます。					
	言語 コミュニケーション	ていねいな言葉遣いを伝え、他者に不快感をもたないような言葉を伝えていきます。相手対して気持ちが伝わらない場面では支援者が入り相手に伝えることで意思が伝わるように援助し、伝え方を学べるように働きかけていきます。選択肢を作り自分の思いを相手に伝えられる機会を作ります。					
	人間関係 社会性	集団での遊びを通してルールやかかわり方を学ぶ機会を作ります。他者との距離感が保てるように、声のボリュームを視覚で示しながら今相手がどの位の大きさで聞こえているのかわかるように示していきます。長期休暇の利用して、公共の交通機関や場所を使いマナーを学ぶ機会を作ります。					
家族支援		半年に1回家庭と懇談の場を設け、様子を聞く中で不安や困りごと等を聞く機会を作っていきます。また必要な時にはいつでも声をかけるよう心がけています。			移行支援	進路への不安がないよう気持ちに寄り添い話を聞いていきます。学童と放課後等デイサービスを併行利用できるように働きかけをしていきます。	
地域支援・地域連携		市町村のイベント情報をもとに参加を促進していきます。相談支援事業所や障がい者総合支援センターと連携していきます。			職員の質の向上	月に1回心理士による学習会を行います。虐待防止研修会をはじめ開催される研修には積極的に参加します。職員会の中で支援方法の確認や共通理解を統一した支援をしていきます	
主な行事等		長期休業中の活動の充実(食事作り・おやつ作り・公共交通機関の使用・イベント等)					